

平成27年度 政務活動費 先進都市調査報告書

会派名	公明党室蘭市議会
議員名	細川 昭広、砂田 尚子、柏木 隆寿
調査実施年月日	平成27年7月2日(木)
調査先 自治体名等	静岡県掛川市
調査項目	「ゆったり子育て三世代同居応援事業について」 「子育てコンシェルジュ事業について」
調査目的	人口定住対策として子育て世代の市内居住を推進するため家賃が高いと感じ近隣市町に住んでいる子どもを持つ若年夫婦に市内の親世代の持ち家等を増改築し同居することを推進し親世代の協力により子育ての負担軽減や見守りを行う事業と核家族化、地域からの孤立により子育ての不安を相談できない保護者に対し面談以外に電話やメールでも対応する子育て相談窓口事業を調査し子育てしやすいまちづくりを進める。
報告内容 実施したこと	<p>1 視察先(市町村)の概要 人口:117, 863人 (H26. 10. 1現在) 行政面積:265.63km²</p> <p>2 視察内容</p> <p>掛川市こども希望部こども政策課・松浦伸明課長に説明を受けました。H26年度からスタートした「ゆったり子育て三世代同居応援事業」とは子育て世代が抱えた子育ての不安やストレスを親世代の知恵や協力により家庭の子育て力向上を図り、母親の孤立防止や心のゆとり増進、世代間交流による子どもの精神的な成長につながるためには三世代同居が効果的であると判断し新たな同居のためには住宅の購入や新築・増改築で多くの費用負担が生じることから費用の1/2、上限50万円分の「地域協働経済支援買物券」を助成する事業。H26年度から始まった「子育てコンシェルジュ事業」とは出産から満3歳までの子どもがいる世帯を対象に無料で「子育てコンシェルジュ」が家庭訪問し子育ての悩みや不安を聞き助言・アドバイスを行うほか電話やメールによる相談も受け付けている。また本の読み聞かせ会の案内や転入者への子育て支援サービスの情報提供に加えH27年度からはPCやスマホによる子育てカレンダーでイベントや健診日程などの情報発信も実施。</p>
感想(まとめ) 本市へ活かせること等	<p>掛川市の三世代同居施策は家族団らんの中で「人づくり構想かけがわ」に掲げる乳幼児教育を進めていくとともに待機児童減少の対策としても期待されていた。また地域商品券で助成することで商店街活性化策としても期待されている。H26年度実績は7月からの実施であったが当初500万円(10件分)の予算を大きく上回り、補正予算で1200万円(24件分)追加を行った。H27年度は当初1500万円(30件分)の予算に対し6月30日時点で28件の申し込みがあったとのこと。H26年度の経済効果は工事発注金額は約6億4000万円、市内で1200万円分の買い物券が使用されたとのこと。市外からの転入は2件。本市の親世代の住居も老朽化しているところが多々見受けられ老朽危険家屋化しないためには建替えやリホームが有効であり三世代同居施策は検討すべきと考える。「子育てコンシェルジュ事業」も対面相談は本市も行っており更なる充実も検討すべきと考える。またPCやスマホの普及によってSNSの活用で双方向のやり取りもでき子育て中で外出が自由にできない母親の不安や悩みに対応する体制も整えるべきであり民間事業者のインターネットによる情報発信と連携した中で実施を検討すべきと考える。</p>